

羽田空港周辺・京浜臨海部の連携強化（目指す姿）

羽田空港周辺・京浜臨海部連携強化推進委員会

平成27年5月18日（月）

1 基本的な考え方

(1) 目指す姿

国家戦略特区における東京圏のビジネス機能を支える成長戦略拠点を形成

(2) 目標

- 世界で一番ビジネスのしやすい環境を整備することにより、世界から資金・人材・企業等を集める国際的ビジネス拠点を形成するとともに、ライフサイエンス分野等におけるイノベーションを通じ、国際競争力のある新事業を創出
- 東京圏の重要なエリアである羽田空港跡地地区(第1ゾーン及び第2ゾーン)と殿町地区の連携を強化し、2020年に向けて成長戦略拠点の形成を目指す。

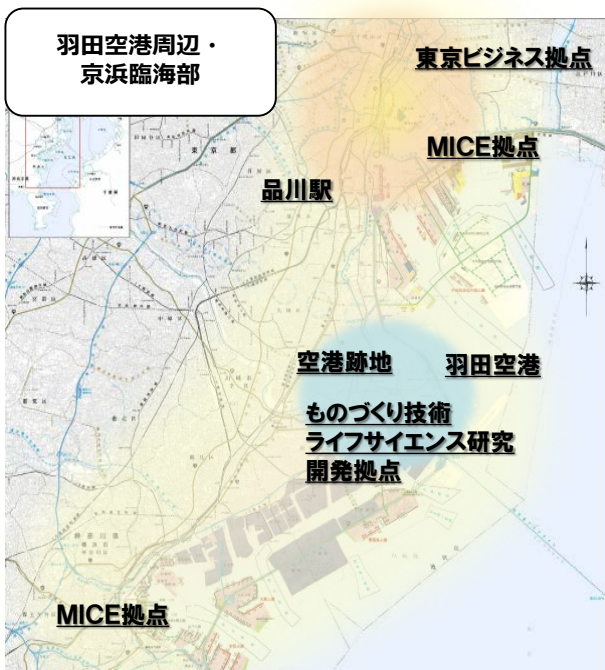
(3) 拠点形成の考え方

- 羽田空港周辺・京浜臨海部の特長と強みを活かし、「ヒト・モノ・ビジネス」の交流促進や連携強化を図ることにより、イノベーションを創出
- 日本の魅力・強みを集め、世界を惹きつける「おもてなしエントランス」を形成

(4) 効果

- ライフサイエンス分野をはじめとした成長分野の新事業の創出・活性化など、我が国の産業活性化に寄与
- 日本の魅力・強みを発信することにより、日本各地のブランド力向上に寄与さらに、訪日外客の増加や全国各地への誘客増など、地方創生にも寄与

羽田空港周辺・京浜臨海部の連携強化を図り相乗効果を発揮させることが重要



(5) 成長戦略拠点の形成に向けた2つの視点

1) ライフサイエンス分野等のイノベーション創出・新産業創造拠点

- 連携強化による相乗効果で世界の研究者等が価値・魅力を感じ、集積する場
⇒効果:イノベーションを通じて、国際競争力のある新事業を創出



<魅力要素>

① 殿町地区

- 最先端医療機器トレーニングセンターを活用した医療機器開発
国内外から年間1万人超の医療従事者が来訪するアジア拠点
- ナノ医療イノベーション拠点やiPS細胞を活用した脊髄損傷治療開発拠点
- サイバニクス技術(*)による最先端の福祉・医療機器(ロボット)開発
(*)人・機械・情報系の融合複合技術
- 成長が期待される再生・細胞医療の実用化・産業化拠点
- 多様なライフサイエンス分野の企業・研究開発機関の集積



② 羽田空港跡地地区

- 産業交流拠点における医療機器開発プラットフォームによるマッチング機能の構築
- 中小企業と多様な主体との協創による新製品・新技術の創出
- 研究開発型企業や意欲ある起業家を誘致することで、ビジネスや交流の促進
- クリエイターとものづくり中小企業との連携による新たな価値の創造

2) 日本の魅力・強み発信拠点

- 世界の来訪者を中心に、羽田空港との至近性を活かしたエリアで、日本の魅力・強みを一体的に発信する場
⇒効果:我が国のプレゼンスを向上、JAPANブランドの輸出拡大や地方創生に貢献

<魅力要素>

① 殿町地区

- ライフサイエンス関連産業などの情報提供・体感の場の提供

② 羽田空港跡地地区

- 国内外の来訪者を迎える「おもてなしエントランス」の形成
・食や技など日本文化の魅力を体験・体感できる機能の形成
・全国各地の物産や農林水産物の魅力を国内外に発信
- 我が国の現代アート魅力を発信
- 宿泊機能・複合業務施設機能

2 成長戦略拠点における2つの展開(事例)

(1) イノベーション創出・新産業創造拠点としての展開

- 国内外の研究者を惹きつけ、集積・交流する場を構築
- 事業環境を整備し、国内外のニーズ・シーズを取り込みイノベーションを次々に創出
- ライフサイエンス分野の医療・工学の連携プロジェクトを先行的に推進

羽田空港跡地地区と殿町地区を中心とした医工連携事業を推進

羽田空港跡地地区(第1ゾーン)に整備

連携活性化につながる環境整備

医療機器開発の促進

集積効果を高める産業交流施設の整備

プラットフォームの形成

- ビジネスインフラ支援機構
- マッチング支援機能
- 技術革新支援機能

- 医工連携を強力に推進
- ニーズ獲得から開発・販路開拓等をトータルでサポート

2つの仕組みにより医工連携推進拠点を形成(イメージ)

グローバル医療機器企業と大田区・川崎市の中小企業との医工連携はマッチングを開始済

羽田空港跡地地区に整備する産業交流施設の医工連携プラットフォームが、マッチングや橋渡し等を実施することにより、競争力のある製品の実用化や新事業創出の起爆剤となる！

製品の改良や新製品開発に向けたニーズ・シーズ把握

①ニーズ(殿町地区ほか)

医療機器トレーニングセンターにエンドユーザーの医師が集まる

産業交流施設(羽田空港跡地)のプラットフォーム機能

○ベンチャー企業、
中小企業等

○医療機器等製造販売メーカー等
(文京区本郷などに集積)

①マッ
チング

研究

③橋渡し

試作、実証、応用
研究

③橋渡し

実用化
新事業創出



製品イメージ

②資金確保
ベンチャー
ファンド
融資
補助金

④薬事手続
販路確保

○羽田空港直結の立地を活かし
国内外の医療機器企業との
マッチング、商談、海外の医師の
ニーズ把握

①シーズ

(大田区など都内、
横浜、川崎など県内)
アカデミア、研究機関、
ベンチャー企業、中小企業

(2) 日本の魅力・強みを発信拠点としての展開

- 国内外の来訪者が、「食」や「技」など日本文化の魅力を体験・体感できる「おもてなしエントランス」を形成する。

おもてなしエントランス

日本ショールーム

JAPANブランドストリート



- 日本各地や海外の農家等から、新鮮な農水畜産品・加工品を集めて販売する物産店舗を展開
- 日本が誇る「ホンモノ」を、来訪者にPRする販路拡大・テストマーケティングの場として活用
- 上記の店舗は「免税店舗」とし、訪日外国人の買物環境を整備
- 日本文化を体験・体感できるコーナーを設置

マルシェ



- 常設の生鮮店舗に加えて、イベントとしてマルシェを開催し、日本の新鮮な農作物や世界各地の物産を販売

日本食レストラン街



- 日本各地の新鮮な採れたて食材を使った料理を和食器等で提供するなど、日本食文化を体験・体感する場を提供

観光案内拠点



- 多言語に対応し、施設を訪れるビジネスユーザーや、訪日外国人等が、日本各地の様々な情報を収集するインバウンドの拠点を形成

3 ヒト・モノ・ビジネスの交流活性化により経済効果を創出

(1) 羽田空港跡地地区・殿町地区エリアの「ヒト・モノ」の交流

1) 研究開発・ビジネス交流

- 殿町地区には、ライフサイエンス分野を中心に最先端の企業・研究機関が集積
- グローバルに活躍する研究者等と限られた時間の中で効率的・効果的に交流可能

- ・両地区で合計約9,000人超の就業者が将来的に発生
- ・年間360万人超の来訪者が見込まれる、東京圏の重要な成長戦略拠点
- ・殿町地区には、国内外から医療従事者(※)や研究者など、時間価値を重視する高度人材が来訪。(※現在、年間1万人超。今後増加見込)

今後の方向

⇒羽田空港を利用する約7,000万人のヒト・ビジネスなど潜在的な需要を踏まえ、企業・研究機関等の一層の集積や実施イベントの増大、拠点の魅力創出・発信、ショールーム機能等により、**更に日本にビジネスを呼び込み、成長を牽引**

2) 文化・観光・賑わい交流

- おもてなしの玄関口
- 来訪者に全国の魅力を短時間で手軽に体験・体感

■大田区、羽田空港跡地地区において「クールジャパン発信」の取り組みを展開

- ・イベント:国際都市おおたフェスティバルin空の日羽田「クールジャパンコーナー」
- ・日 時:平成26年9月27日 午前10時～午後4時
- ・来場者数:24,000人

レストラン 日本各地から新鮮なまま運び込まれる「旬」の食材を使った、「羽田」ならではの食事を味わえる「レストラン」を展開。



マルシェ 飛行機を使った輸送(カーゴ&ハンドキャリー)を中心に、日本各地から「旬」の食材を運び込み「マルシェ」を開催。



全国各地の産地と連携し、来場者に新鮮素材を提供

今後の方向

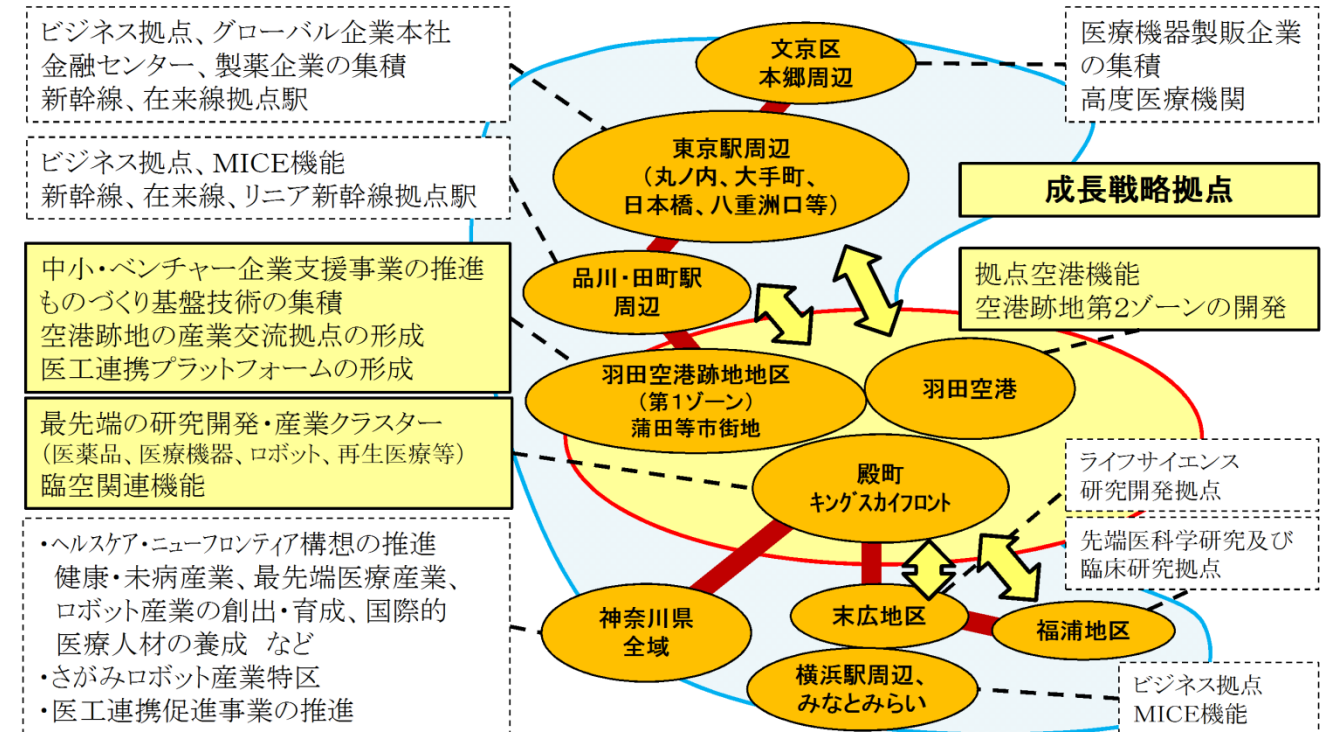
⇒世界トップクラスの乗降客数を誇る羽田空港の至近は日本の魅力発信に最適エリア
全国各地と連携したイベントの開催を通じ、**地方との関係を強化**
選りすぐりの物産のショールームを整備し、**地方創生に貢献**

(2) 連携強化の成果やビジネス機会を東京圏の各拠点や国内各地等へ波及

- 東京圏内の各拠点と連携強化し、ビジネスの種を、着実に事業化
- 全国の魅力の集積と発信により、全国各地へ波及・誘導
- ⇒具体的に実績を積み上げていくことにより、更なる好循環へ

■各拠点との連携、波及イメージ例

〈行政区域を越えて各地区の強みを連動させて相乗効果を発揮〉



東京圏の重要なエリアとして、世界的な成長戦略拠点を形成 羽田空港を中心とした連携強化による相乗効果を発現

＜相乗効果の例＞

- 最先端の研究開発シーズと高度なものづくり技術をマッチング
- ビジネスしやすい環境を整備し、ライフサイエンス分野等における新事業の早期創出に貢献
- ライフサイエンス分野を中心に、日本発の革新的医薬品・医療機器を早期実用化し、国内外へ展開
- 国内地方都市と連携し、我が国の魅力発信拠点として、訪日外客・ビジネスを全国へ誘導・波及

産業連携・土地利用・基盤整備を効果的・効率的に実施
連携強化を支える羽田空港跡地地区と川崎市殿町地区間を結ぶ
連絡道路の整備、国道357号多摩川トンネルの整備の実現

我が国の産業を強化し、経済の持続的発展に寄与